

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【公開番号】特開2015-2633(P2015-2633A)

【公開日】平成27年1月5日 (2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2013-126708(P2013-126708)

【国際特許分類】

H 0 2 J 50/00 (2016.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 17/00 B

H 0 2 J 17/00 X

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

H 0 1 M 10/44 Q

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月16日 (2016.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

給電装置であって、

電子機器に無線により電力を出力する給電手段と、

前記電子機器と通信する通信手段と、

前記電子機器から取得したデータを用いて、前記給電装置を第 1 の給電モード及び第 2 の給電モードのいずれか一つに設定する設定手段と、

前記給電装置が前記第 1 の給電モードである場合、前記電子機器と通信を行うための第 1 の電力を供給するための第 1 の処理を行う制御手段とを有し、

前記給電装置が前記第 2 の給電モードである場合、前記制御手段は、前記第 1 の処理と、前記電子機器に前記第 1 の電力よりも大きい第 2 の電力を供給するための第 2 の処理とを繰り返し実行すると共に、前記第 1 の処理の前に、前記給電手段から出力される電力を停止するための第 3 の処理とを行うことを特徴とする給電装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、前記電子機器が受け取ることができる電力のレベルに応じて、前記給電装置を前記第 1 の給電モード及び前記第 2 の給電モードのいずれか一つに設定することを特徴とする請求項 1 に記載の給電装置。

【請求項 3】

前記設定手段は、前記電子機器が前記給電装置に要求する電力に応じて、前記給電装置を前記第 1 の給電モード及び前記第 2 の給電モードのいずれか一つに設定することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の給電装置。

【請求項 4】

前記電子機器が前記給電装置に要求する電力が第 1 の値以上でない場合、前記設定手段は、前記給電装置を前記第 1 の給電モードに設定することを特徴とする請求項 3 に記載の

給電装置。

【請求項 5】

前記設定手段は、前記電子機器に接続された電池の残容量に応じて、前記給電装置を前記第 1 の給電モード及び前記第 2 の給電モードのいずれか一つに設定することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の給電装置。

【請求項 6】

前記電池の残容量が第 2 の値以上でない場合に、前記設定手段は、前記給電装置を前記第 1 の給電モードに設定することを特徴とする請求項 5 に記載の給電装置。

【請求項 7】

前記給電装置が前記第 2 の給電モードである場合、前記第 1 の処理が行われた後、前記制御手段は、前記第 3 の処理を行ってから前記第 2 の処理を行うことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の給電装置。

【請求項 8】

前記第 3 の処理は、所定の時間が経過するまでの間、前記給電手段から出力される電力を停止する処理であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の給電装置。

【請求項 9】

前記制御手段は、前記第 2 の電力の値に応じて、前記所定の時間を設定することを特徴とする請求項 8 に記載の給電装置。

【請求項 10】

前記制御手段は、前記電子機器に接続された電池の残容量に応じて、前記所定の時間を設定することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の給電装置。

【請求項 11】

前記制御手段は、前記所定の時間を前記電子機器に通知するように前記通信手段を制御することを特徴とする請求項 8 から 10 のいずれか 1 項に記載の給電装置。

【請求項 12】

給電装置の制御方法であって、
電子機器に無線により電力を出力する給電ステップと、
前記電子機器と通信する通信ステップと、
前記電子機器から取得したデータを用いて、前記給電装置を第 1 の給電モード及び第 2 の給電モードのいずれか一つに設定する設定ステップと、
前記給電装置が前記第 1 の給電モードである場合、前記電子機器と通信を行うための第 1 の電力を供給するための第 1 の処理を行う第 1 制御ステップと、
前記給電装置が前記第 2 の給電モードである場合、前記第 1 の処理と、前記電子機器に前記第 1 の電力よりも大きい第 2 の電力を供給するための第 2 の処理とを繰り返し実行すると共に、前記第 1 の処理の前に、前記給電手段から出力される電力を停止するための第 3 の処理とを行う第 2 制御ステップとを有することを特徴とする給電装置の制御方法。

【請求項 13】

コンピュータを、請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の給電装置の各手段として機能させるための、コンピュータが読み取り可能なプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る給電装置は、給電装置であって、電子機器に無線により電力を出力する給電手段と、前記電子機器と通信する通信手段と、前記電子機器から取得した情報を用いて、前記給電装置を第 1 の給電モード及び第 2 の給電モードのいずれか一つに設定する設定手段と、前記給電装置が前記第 1 の給電モードである場合、前記電子機器と通信を行うた

めの第 1 の電力を供給するための第 1 の処理を行う制御手段とを有し、前記給電装置が前記第 2 の給電モードである場合、前記制御手段は、前記第 1 の処理と、前記電子機器に前記第 1 の電力よりも大きい第 2 の電力を供給するための第 2 の処理とを繰り返し実行すると共に、前記第 1 の処理の前に、前記給電手段から出力される電力を停止するための第 3 の処理とを行うことを特徴とする。